



Walk with Children

めぐろ



せいび

177号  
2022年3月

あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。

あなたがたは世の光である。…あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。  
(マタイ 5章 13～16節より)

校長 シスター 小島 理恵

いよいよ令和3年度も締めくくりの時が訪れました。今年度も様々な出来事があり、子ども達には我慢させなければならないこともたくさんありました。しかし、コロナ禍にあっては安心・安全が第一であることを子どもなりに理解し、明るく前向きに生活することができました。保護者の皆様のお子様への励まし、学校へのご協力とご理解のおかげです。心より感謝申し上げます。

今、世界中が固唾を呑んで見守り、支援の手を差し伸べているウクライナ情勢にたいへん心が痛みますが、私達には祈ることができます。日々、心をこめて世界平和のために祈りましょう。また、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束も祈り続けましょう。

一年間、本当にありがとうございました。

コンネッショナー  
Connessione

～つながり～

今月は、サレジオ会初の聖堂「聖フランシスコ・サレジオ聖堂」の誕生秘話について紹介します。

ドン・ボスコは少年たちのために、ピナルディの家をオラトリオとして使用させてもらうことになりました。そしてさらに事業を発展させるため、借用していたピナルディの家を購入して、聖堂を建てようと商談を持ちかけます。そして、15日後に3万リラを支払うことで商談は成立しました。しかしドン・ボスコはそのとき、そのような大金を持っていませんでした。では、どうしてドン・ボスコは聖堂を建てることができたのでしょうか。それは神の摂理が働いたことを信じずにはいられない出来事の連続でした。

商談の後、ドン・ボスコのところへ寄付をしてくれる人や、お金を貸し付けてくれる人が次々と現れたのです。こうしてお金が集まりましたが、それでもまだ3万リラ足りませんでした。そこで、ドン・ボスコは知恵を絞り、福引大会を開催しました。そうして神様のお導きによって、念願のサレジオ会初の聖堂「聖フランシスコ・サレジオ聖堂」が誕生しました。

『ドン・ボスコ』テレジオ・ボスコ著（ドン・ボスコ社）参照



ドン・ボスコのお祝い

3月14日

1888年1月31日にドン・ボスコが帰天し、今年で134年を迎えました。今年は5年生による宗教劇や1・2年生による歌の発表を予定していましたが、コロナ禍によるオンライン授業への切り替えに伴い、行うことができませんでした。しかし、私たちのお祈りはきっとドン・ボスコにも届いたと思います。

そして、学校が再開し、日を改め、3月14日にドン・ボスコのお祝いを行うことができました。共に喜びを分かち合うことができた様子をお届けします。



5年生による劇「ドン・ボスコは君たちのもの」を通して、ドン・ボスコの子どもを思う愛の大きさが伝わりました。



校長先生が素敵なプレゼントをくださいました。



先生たちも聖歌「道標（みちしるべ）」を演奏しました。



6年生 目黒星美 Last week

校内 美ら島学校 3月1日~3日

美ら島水族館の学芸員さんのお話をリモートで聞いたり、シーサー作りに励んだりしながら、平和とは何かを考える3日間でした。



小金井公園にて 3月4日

久しぶりに大きな公園で、学年のみんなで思いきり遊びました。



練成会 3月7日

6年間のお恵みを神様に感謝するため、サレジオ教会にて感謝のミサをとりおこないました。



6年生を送る会 3月15日

全校児童で準備をして、6年生に感謝の気持ちを伝えました。

